

経費削減に努力するも、当期活動増減差額△438千円 早急な経営改善の取り組みが必要

事業活動計算書 (抜粋)

(単位:円)

内 容		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)	前年比
※ 1 サービス活動増減の部	収 益	375,581,402	392,472,022	△ 16,890,620	95.70%
	費 用	377,135,166	381,364,186	△ 4,229,020	98.89%
	増減差額 (1)	△ 1,553,764	11,107,836	△ 12,661,600	△ 13.99%
※ 2 サービス活動外増減の部	収 益	1,115,239	1,749,887	△ 634,648	63.73%
	費 用	0	0	0	
	増減差額 (2)	1,115,239	1,749,887	△ 634,648	63.73%
※ 3 特別増減の部	収 益	0	10,753,999	△ 10,753,999	0.00%
	費 用	1	2	△ 1	50.00%
	増減差額 (3)	△ 1	10,753,997	△ 10,753,998	50.00%
当期活動増減差額 (4)=(1)+(2)+(3)		△ 438,526	23,611,720	△ 24,050,246	△ 1.86%
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (5)	212,280,281	199,030,583	13,249,698	106.66%
	当期末繰越活動増減差額 (6)=(4)+(5)	211,841,755	222,642,303	△ 10,800,548	95.15%
	基本金取崩額 (7)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額 (8)	7,075,922	6,081,949	993,973	116.34%
	その他の積立金積立額 (9)	6,627,155	16,443,971	△ 9,816,816	40.30%
	※ 4 次期繰越活動増減差額 (10)=(6)+(7)+(8)-(9)	212,290,522	212,280,281	10,241	100.00%

- ※ 1 サービス活動増減の部 法人運営事業や地域福祉事業、介護保険事業、障害福祉サービス事業など社協活動による収益と費用を表します
○ 4 ページにその詳細を紹介しています。
- ※ 2 サービス活動外増減の部 預金（基金）利息やコピー代収入など社協活動以外の収益と費用を表します
- ※ 3 特別増減の部 経常的ではない一時的な損益を表します。今年度は固定資産（車両）の減価償却費のみ計上しています
- ※ 4 次期繰越活動増減差額 前期（平成 30 年度以前）からの利益と当期（平成 30 年度）の利益を合算し、次期（令和元年度）に繰り越す利益を表します

貸借対照表

平成31年3月31日(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目名	当年度末	前年度末	増減	科目名	当年度末	前年度末	増減
流動資産	221,118,346	214,374,018	6,744,328	流動負債	46,919,840	46,024,021	895,819
現金	265,611	146,000	119,611	事業未払金	6,264,139	6,070,229	193,910
預貯金	172,900,561	150,853,305	22,047,256	その他の未払金	25,291,159	25,636,696	△ 345,537
事業未収金	47,172,452	48,104,053	△ 931,601	預り金	708,334	574,000	134,334
未収補助金	33,015	14,544,462	△ 14,511,447	職員預り金	2,814,780	2,021,897	792,883
介護用品棚卸資産	625,037	647,959	△ 22,922	賞与引当金	11,841,428	11,721,199	120,229
立替金	19,530	31,037	△ 11,507				
仮払金	102,140	47,202	54,938	固定負債	131,031,110	131,053,720	△ 22,610
固定資産	440,767,988	447,077,633	△ 6,309,645	退職給与引当金	131,031,110	131,053,720	△ 22,610
基本財産	36,650,000	36,650,000	0				
土地	32,650,000	32,650,000	0				
定期預金	4,000,000	4,000,000	0	負債の部合計	177,950,950	177,077,741	873,209
その他の固定資産	404,117,988	410,427,633	△ 6,309,645	純資産の部			
建物	126,442	270,041	△ 143,599	基本金	4,000,000	4,000,000	0
建物附属設備	8,425	16,845	△ 8,420	基本金	4,000,000	4,000,000	0
構築物	543,830	766,942	△ 223,112	その他の積立金	267,644,862	268,093,629	△ 448,767
車輛運搬具	5,316,940	6,005,238	△ 688,298	地域福祉基金積立金	216,052,929	216,052,929	0
器具及び備品	2,272,629	3,501,546	△ 1,228,917	人件費積立金	18,432,485	18,432,485	0
ソフトウェア	0	1,218,002	△ 1,218,002	修繕積立金	17,439,000	17,439,000	0
投資有価証券	9,979,180	9,968,770	10,410	備品等購入積立金	6,081,949	6,081,949	0
長期貸付金	1,821,500	1,813,500	8,000	災害救援基金積立金	3,020,700	3,011,666	9,034
退職手当積立基金預け金	116,404,180	118,773,120	△ 2,368,940	車輛購入積立金	6,617,799	7,075,600	△ 457,801
地域福祉基金積立資産	216,052,929	216,052,929	0				
人件費積立資産	18,432,485	18,432,485	0	次期繰越活動収支差額	212,290,522	212,280,281	10,241
修繕積立資産	17,439,000	17,439,000	0	うち当期活動増減差額	△ 438,526	23,611,720	△ 24,050,246
備品等購入積立資産	6,081,949	6,081,949	0				
災害救援基金積立資産	3,020,700	3,011,666	9,034				
車輛購入積立資産	6,617,799	7,075,600	△ 457,801	純資産の部合計	483,935,384	484,373,910	△ 438,526
資産の部合計	661,886,334	661,451,651	434,683	負債及び純資産の部合計	661,886,334	661,451,651	434,683

平成30年度
事業報告と決算

地域や住民が進める ふくしのまちづくりを応援

宍粟市社会福祉協議会（以下、本会）では、6月21日の第38回定時評議員会において、平成30年度事業報告ならびに決算が承認されました。また、平成30年度は、第3次地域福祉推進計画（通称・支え合いふくしプラン）の3年目としての活動を推進しました。今月号では、その概要についてお知らせします。

寄付金収益と介護保険事業収益減額による赤字

平成30年度は、寄付金の収益や介護保険事業の収益などの落ち込みにより、法人全体で、438千円の赤字決算となりました。

その主な要因は、介護保険事業と障害福祉事業の利用者減少や、収入の落ち込みによるものです。この傾向は今後も続くことが予想されます。

新年度では法人全体の財源運営方法や介護保険事業、地域福祉事業の改善などについて、経営課題の対策を検討する「第6期経営検討委員会」を設置し、早急に協議を進めます。

被災者支援のボランティアセンター活動

7月の記録的な豪雨は、西日本で大きな被害をもたらしました。宍粟市においても大雨特別警報が発令される中、市内で大きな災害が発生しました。

被害状況を把握した本会は、ボランティアの協力を得て被災者支援に取り組み、被災家屋の復旧作業や支援物資の提供、孤立集落への慰問や支援活動を行いました。

また、岡山県倉敷市真備町への災害救援活動や同市の災害ボランティアセンター運営支援活動に取り組むなど、求められる役割に対応しました。

元気な地域づくりと次年度へつながる調査や研究

平成31年2月に第7回宍粟市地域福祉のつどいを開催し「みんなで楽しむ元気な地域づくり」をテーマに、市民の皆様と地域づくりを楽しむコツについて考える機会を持ちました。

また、本会の第3次地域福祉推進計画に掲げた重点事業について、役職員が調査研究に取り組みながら、計画の振り返りや点検と評価を行いました。

調査研究の内容は、地域の課題や現状の集計分析、また、地域における福祉学習推進への提言や、生活困窮やひきこもりの支援を視野に入れた福祉拠点の提案などで、次年度の取り組みへ活かしていきます。

本会の役割は、住民主体の原則に基づいた「ふくしのまちづくり」です。新年度は組織の課題を協議しながら、地域の皆様に「必要とされる社協」として、更にご理解やご支援をいただけるよう取り組んでいきます。

（事務局次長 春名豊滋）



Aコープの開鎖に伴い生活支援コーディネーターが地域の困りごとを聞く中で、開催につながったウィークデーマーケット（写真：旧みかたAコープ）

見えてきた“活動や成果”のカタチ

(事業報告書より一部掲載)

見守り・支え合い活動を推進

各自治会に設置の**福祉連絡会**（自治会役員、民生委員、**福祉委員**等で組織）に助成金を交付し活動の基盤を支え、集いの場や居場所づくりの提案をはじめ、地域見守り会議の啓発など、福祉連絡会が取り組む見守り・支え合い活動を応援しました。



福祉連絡会への活動支援
156 自治会 411 万円助成
福祉委員の設置 895 名
地域見守り会議の開催数
675 回

地域に根ざした社協の介護サービス

介護保険事業や**障害福祉サービス**の指定事業者として、地域に根ざした社協ならではの「だれもが安心して利用できる介護サービス」を行いました。



居宅介護・介護予防支援(ケアプラン作成) 4,517件
通所介護(デイサービスセンター) 7,796件
訪問介護・障害居宅介護(ホームヘルプ) 2,032件
訪問入浴介護(入浴サービス) 795件
障がい者相談支援センター(計画作成) 396件

“人”と“人”をつなぐボランティアセンター



市内で活動するボランティア（個人・団体）へのサポートをはじめ、宍粟市ボランティア連絡会の運営を支援しました。また昨年7月の豪雨災害発生時には被災者とボランティアをつなぐ『**災害救援活動**』の拠点として被災者支援活動に取り組みました。

ボランティア登録 150 グループ 1,905 名
ボランティアへの支援 118 グループ 151 万円助成

出前講座で学習の機会

学校や地域、事業所等で福祉を学べる機会として**ふくしの出前講座(福祉学習会)**を行い、職員をはじめ、それぞれの分野の専門職や障がいのある方、ボランティアが講師（ゲスト）として参加・協力しました。



学校 14 校・24 教室
地域 14 自治会



地域の中で気軽に寄れる集いの場

生活支援コーディネーターが、地域の誰もが何らかの役割をもって参加できる**集いの場**や**居場所づくり**を提案し、ふれあい喫茶やサロン等で活動を広げてきました。

また、新たな集いの場等の立ち上げ支援として赤い羽根共同募金配分金の助成等を行いました。

ふれあい喫茶 124 団体・延 587 回
ふれあいサロン 25 団体・延 116 回
集いの場・居場所づくり立上げ支援 4 団体



テーマは『楽しむ』宍粟市地域福祉のつどい



『みんなで楽しむ元気な地域づくり』をテーマにした第7回宍粟市地域福祉のつどいを開催。市内で地域活動に楽しく元気に取り組まれている6組（8人）の方から、活動のきっかけや楽しさの秘訣をお話いただき、『**地域づくりを楽しむコツ**』を考えました。

第7回宍粟市地域福祉のつどい 250 名参加

生活困窮世帯への支援



生活困窮支援の一環として**食のセーフティネット事業**を立ち上げ、各家庭や企業などで眠っている食品等を善意銀行で受付け活用しました。

食のセーフティネット事業
受付 50 件 **支援** 15 件

出会いと結婚の促進

婚活セミナーやカップリングパーティーなどを企画実施する**出会いサポートセンター**と、婚活応援団である**結婚相談員**さんによるパートナー探しに取り組みました。

結婚相談所の開設 31 回
お見合い件数 40 件
成婚数 3 組



高齢者の食生活を応援

配食サービス事業は、ボランティアが調理した手作りお弁当をお届けし、孤独になりがちなひとり暮らし高齢者等の見守り活動や生活支援につなぐ重要な役割を担いました。

実施回数 388 回
延べ配食数 15,900 食
延べボランティア数 3,628 名



宍粟市社協:平成30年度決算報告

決算の詳細 (事業活動計算書 サービス活動増減の部)

収益〈収入〉について

○寄付金収益、会費収益

善意銀行への預託は、遺贈による 3,218 千円の寄附があった前年度に比べ、約 4,062 千円減少し、10,964 千円となりました。各ご家庭にご協力いただく「社協一般会費」と2月に募集をした「賛助会費」は、前年度に比べ 202 千円減少しました。

○介護保険収益

居宅介護支援事業で 5,950 千円の減益、訪問介護事業で 2,928 千円の減益となったことで、介護保険事業全体では 5,266 千円の黒字を計上しましたが、前年度に比べ 9,505 千円の減益となっています。

○障害福祉サービス等事業収益

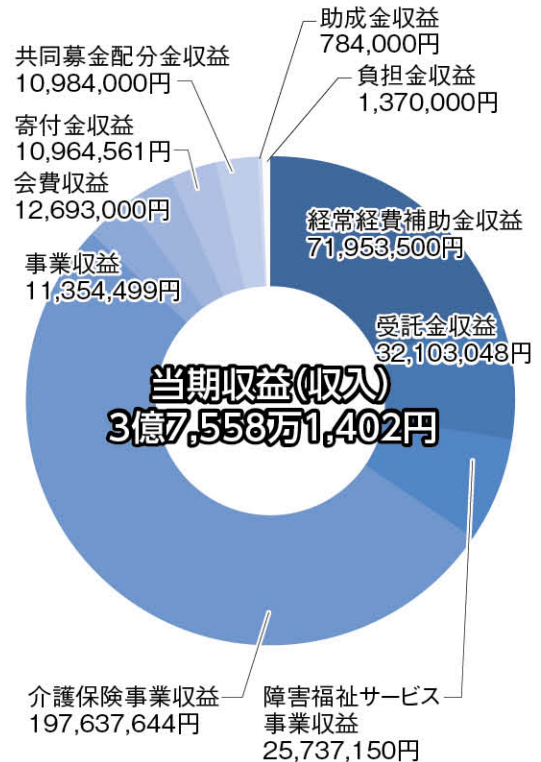
障がいホームヘルプサービスでは、毎日利用されていた方が年度途中に施設へ入所されたこと等から、1,541 千円の減益となりました。

○助成金収益

平成 30 年 7 月豪雨災害の支援活動には、兵庫県共同募金会から 220 千円、宮城県石巻市社協から 100 千円の助成がありました。いただいた助成金は、活動機材や消耗品等の購入、車両燃料費等に活用しました。

○委託金収益

短時間通所サービス（ミニデイサービス）事業で新たな利用者が増えないことなどから、委託金収益は 1,556 千円減少しました。



費用〈支出〉について

○人件費

職員 110 名（平成 30 年度の状況 うち 51 名は非常勤職員）の人件費は、費用の約 75% を占めています。効率的な勤務体制を組んだことで、前年度に比べ 6,934 千円減少しました。

○事業費、事務費

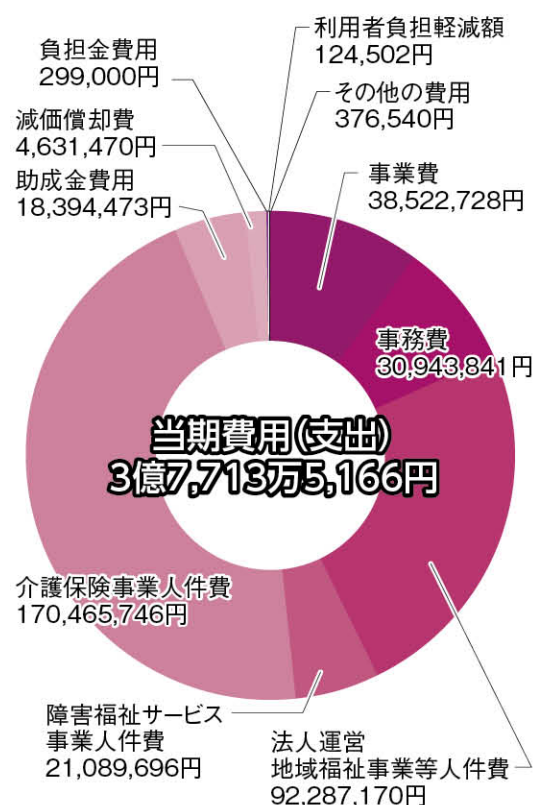
平成 30 年 7 月豪雨災害では、被災された 109 件に対し、善意銀行から 695 千円の見舞金をお渡ししました。毎月発行する広報紙をリニューアルさせた結果、広報費支出が 440 千円減少するなど経費の削減に努めました。

○助成金

小地域福祉活動に取り組む自治会福祉連絡会には 156 自治会に 4,111 千円を助成しました。財源は赤い羽根共同募金配分金です。

ボランティアグループへは、118 グループに 1,515 千円の助成を行い、安定した活動ができるよう支援しました。財源は善意銀行預託金です。

また、宍粟市から受けた敬老会補助金 11,176 千円を実施いただいた自治会等へお渡ししました。



平成 30 年度の事業報告書、決算書は本会のホームページでも紹介しています。

また、本部・各支部窓口で閲覧していただくこともできますので、お気軽にお尋ねください。